



吉川三津子 議員

公共施設の「長寿化計画」を

質問

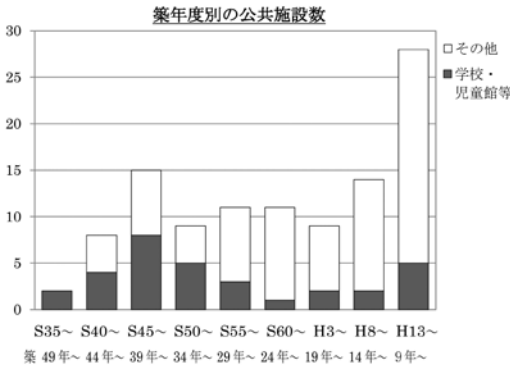
築50〜30年の公共施設が多い。特に子ども関係の施設が古く、立田南部小は築50年、保育園はすべて築31年〜40年であり、一度に修理費が増えたり、建替時期が重ならないような工夫が必要だ。

各部署で施設修理計画を考えるのではなく、市全体で「施設長寿化計画」を立てるべきではないか。

副市長

社会情勢の変化により、子どもと老人と一緒に遊べる施設なども必要になってくる。

計画作りについて研究したい。



ごみ埋立跡地と不法投棄問題

質問

ごみ埋立跡地に建った住宅が傾いたり、有害物質が出たりする問題が全国で発生している。そのため、土地の改変による有害ガス、土壌や水汚染の拡大を防ぐ目的で、平成16年に法改正がされ、ごみ埋立跡地は、県が「指定区域」に指定し、場所を公表することになった。

平成17年、県から報告を求められているはずだが、佐屋地区24カ所、佐織地区9カ所、立田地区3カ所、八開地区2カ所のごみ埋立跡地のいずれも、県に報告がされていない。なぜか。

市民生活部長

県に報告されなかったいきさつはわからない。今後、県の指導を受けながら、手続きを進めていく。

質問

かつて立田・八開地区で

は、産廃の野焼きや不法投棄が横行していた。これら現場には指定区域と同じ問題があるが、資料の保存はしているか。

市民生活部長

こうした問題があったことも知らなかった。職員に指示を出したので時間がほしい。

質問

日置町の産廃焼却炉からの悪臭苦情が絶えない。職員が専門的知識を持つ必要があるのではないか。

市民生活部長

職員の研修については、意図も確認して考えてみる。

質問

雀ヶ森町の「市営ごみ埋立処分場」は、法違反の施設であり、敷地半分はごみが埋まっている。今後どうするか。

市民生活部長

ごみを全量撤去するか、水処理施設を造るかの選択をしなければ閉鎖ができない。県の方へ指導を願っている。

質問

新右工門新田町には、市が、ごみ処分場建設目的で購入した農地もある。不要な土地は売却すべきと思うが、この土地はどうするのか。

総務部長

処分場目的で購入したことを初めて知った。環境部局と調整ができていない。